



Colors, Future!
いろいろって、未来。
川崎市

川崎市

- 川崎市で収集したペットボトルは約5,300トン(令和3年度)、その内の約2割がペットボトルに、残りはペットボトル以外の洋服や文房具などにリサイクルしています。
- 川崎市で収集したプラスチック製容器包装は約14,500トン(令和3年度)、こちらもアンモニアや水素等の合成ガスやプラスチックボードなどにリサイクルしています。
- 川崎市は、みなさまの資源を大切に受けとめます。



株式会社セブン・イレブン・ジャパン 株式会社イトーヨーカ堂

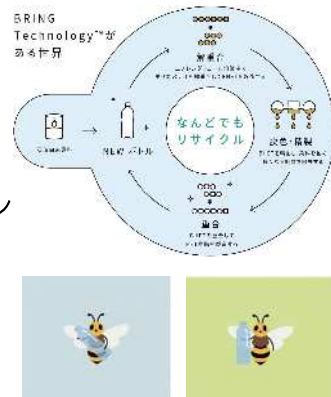
- セブン&アイグループは、ペットボトルの拠点回収を行っています。
- 川崎市内の店舗に、使用済みペットボトル回収機を設置しています。
- ①セブン・イレブン店舗 120店舗
- ②イトーヨーカドー 5店舗

- ※1 セブン・イレブンでは5本で1nanacoポイントもらえます。
- ※2 イトーヨーカドーでは1本で2リサイクルポイントもらえます。500リサイクルポイントためると50nanacoポイントと交換できます。
- ※3 ①セブン・イレブン店舗及び②イトーヨーカドー店舗のペットボトル回収機について、ポイントの連携は行っておりません。



ペトリファインテクノロジー株式会社

- ケミカルリサイクル技術「BRING Technology™」では、再生困難とされたPETボトルであっても、安心・安全であるまったく新しいPETボトルに何度でもよみがえらせることができます。
- 分別し排出したペットボトルが、再びペットボトルとして活用される具体的なイメージを地域住民の方々にもっていただくことで、今後リサイクル意識の更なる向上を期待することができ、あわせて啓発活動にも取り組んでいきます。



アサヒ飲料株式会社

- アサヒ飲料は、市内企業のペトリファインテクノロジー社の独自技術、日本で唯一のケミカルリサイクル「BRING Technology™」によって再生された樹脂を使用し、ボトルtoボトルを推進しています。
- 川崎市のプラスチック資源循環の中で、製造事業者としての「つくる責任つかう責任」を果たしていきます。



J&T 環境 株式会社

J&T 環境株式会社

- 川崎市内で発生する使用済みPETボトルを再生PETボトルの原料となる「PETフレーク」として生まれ変わらせます。
- 川崎市内におけるペットボトル資源循環の一翼を担います。

ボトル to ボトル
リサイクルにより
CO₂発生を60%削減



サントリーホールディングス株式会社

- ペットボトルのFtoPダイレクトリサイクルにより、脱炭素社会の実現に貢献します。

